

平成三十一年度 学力検査問題

国語

(九時二十五分～十時十五分)
(五十分間)

受検番号	第	番
------	---	---

注意

- 1 解答用紙について
 - (1) 解答用紙は一枚で、問題用紙にはさんであります。
 - (2) 係の先生の指示に従って、所定の欄二か所に受検番号を書きなさい。
 - (3) 答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
 - (4) 解答用紙は切りはなしてはいけません。
 - (5) 解答用紙の「印は集計のためのもので、解答には関係ありません。
 - 2 問題用紙について
 - (1) 表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
 - (2) 問題は全部で五問あり、表紙を除いて十三ページです。
- 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(25点)

怪我で野球を続けられなくなった、元エースの立石大河は、甲子園を目指すチームメイトを応援するため、吹奏楽部の不破瑛太郎に協力を願い出た。吹奏楽部は現在、テレビのドキュメンタリー番組で密着取材を受けている。

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

(額賀滯著「ジョックロックに笑え」による。一部省略がある。)

(注) ※冒瀆……神聖・尊厳なものをおかしげがすこと。

問1 不破が部室に駆け込んできた。とありますが、不破が部室に駆け込んできた理由を説明した文として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

- ア みんなと練習するよりも、一人の方が効率よく練習できると考えたから。
- イ いつものように大河と話をすることで、平常心を取り戻したかったから。
- ウ 今まで隠していたことが明るみになり、吹奏楽部の練習に居づらくなったから。
- エ 部活動が始まる前に、どうしても伝えなくてはならないことがあったから。

問2 不破は仏頂面をする。とありますが、これは不破のどのような様子を表していますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

- ア これから部員たちをどのように説得したらよいのか、途方に暮れている様子。
- イ テレビ局員にとこまでもしつこく追いかけられ、不機嫌になっている様子。
- ウ 年上の人物に対して、言いたいことをついに言えたと得意になっている様子。
- エ 自分に対して、批判を浴びせる部員たちから逃げ続けることに疲れている様子。

問3 ごくり、と大河は生唾を飲み込んだ。とありますが、このときの大河の様子を次のようにまとめました。空欄にあてはまる内容を、十五字以上、二十五字以内で書きなさい。(6点)

森崎さんに、騒動の中心人物だと言われただけではなく、
様子を。

15	25
----	----

問4 憤った声とは裏腹に、宮地の顔はそこまで怒っていなかった。とありますが、ここから、宮地のどのような心情の変化がわかりますか。次の空欄にあてはまる内容を、二十五字以上、三十五字以内で書きなさい。(6点)

はじめは、瑛太郎の行動に対して

35

という気持ちに変化した。

問5 本文の表現について述べたものとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(5点)

ア「よく今日までばれなかったものだ」ここで練習する時点で〈大人しく〉ではないんじゃないかなにかのように、大河の心情が会話以外においても表現されている。

イ「大河をちらりと見た」大河からぶいっと目を逸らし」のように、擬態語を用いることによって、登場人物の様子や心情が印象的に表現されている。

ウ「ソロバートを高らかに歌い上げているようだった。ドキュメンタリーで見た、誰もいない朝の音楽室でサックスを演奏する彼自身みたいだ。」のように、比喩と倒置が効果的に用いられている。

エ「大河の声に、宮地は振り返ってくれた」のように、回想の場面を挿入することで、大河と宮地の関係性が次第に変わっていったことが象徴的に表現されている。

2 次の各問いに答えなさい。(22点)

問1 次の——部の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に改めなさい。(各2点)

- (1) 至福の時間を過ごす。
- (2) 晩鐘が鳴り響く。
- (3) 毎日怠けずに練習する。
- (4) 改革のコンカンをなす。
- (5) 無限の可能性をひめる。

問2 次のア～オの中から、受け身の意味(用法)で用いられている助動詞を二つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

来週の日曜日、市民ホールで、地元出身のピアニストのコンサートが開催される。情感が満ちあふれる彼女の演奏を聴くと、自分の幼い頃が思い出される。そして、いつも涙がはらはらと頬を伝って流れる。有名なコンクールで最優秀賞を受賞した功績をたたえ、近々、彼女に市民栄誉賞が授与されるようだ。

問3 次の文の——部と同じ意味を表す四字熟語として最も適切なものを、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

彼が直面している課題は、ほんの少しの間に解決できるような易しいものではない。

- ア 一朝一夕 イ 縦横無尽 ウ 深謀遠慮 エ 日進月歩

問4 次は、埼玉県に住む中学生のAさんの学級で、「新聞の投書記事」をもとに、話し合いを行っている様子です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(各3点)

【新聞の投書記事】

「お客さん」としてだけでなく

中学生 埼玉 花子
(埼玉県 13)

私の住む埼玉県では、2019年にラグビーワールドカップの3試合が、翌年には

主な対象は18歳以上であった。小中学生については、親子での参加や他の地域の活動も参考にしつつ、取り組みを検討していくとなっていた。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の一部が開催される予定だ。どちらも観戦に行ってみたいのはもちろんだが、ボランティアとして関わってみることに興味がある。

大会ボランティアについて調べてみると、

中学生に参加可能なボランティアの数は少ないかもしれない。だが、世界的なビッグイベントが身近な地域で行われる。せっかくだから、「お客さん」以外の形でも関わられたらうれしい。私でも何かできることはないか、今後も調べていきたいと思う。

話し合いの様子

司会「今日は、この投書記事について話し合います。意見や感想があったら話してください。」

Aさん「私は、この投書記事と同じように、ボランティアに関わることに興味はありますが、そもそも、そういった大きなスポーツイベントで中学生にも参加できることはあるのでしょうか。」

Bさん「私も、中学生が参加するのは難しいと思います。投書記事にあるように、中学生にできる活動はあまりないだろうし、勉強や部活動もあるので時間的にも難しいからです。」

司会「中学生にはボランティアへの参加は難しいのではないかと意見ですが、他の意見はありますか。」

Cさん「はい。投書記事に書かれているように、Iのだから、何かお手伝いのようなことでもいいのでやってみたいと思います。活動の自身については、大人と同じようにとはいかないかもしれませんが、取り組めることはあるのではないのでしょうか。」

Dさん「私もその意見に賛成です。ボランティアにはいろいろなものがあります。活動に参加してみたら意外とできた、というものもたくさんあると思います。様々なボランティアをやってみることが大切なのではないでしょうか。」

司会「つまり、まずは中学生でもできるようなボランティアに挑戦してみよう、ということですね。」

Cさん「ボランティアには、道案内をしたり環境美化を行ったりするものもあると聞いたことがあります。」

Aさん「ボランティアにはどんなものがあるのか知りたくなりました。現在、行われているものについて、調べてみるというのはどうでしょうか。」

司会「では、中学生も参加しているボランティアについて、調べて紹介するということでよいでしょうか。」

(1) 【新聞の投書記事】と話し合いの内容をふまえて、Cさんの発言の空欄

I

に

あてはまる言葉を、【新聞の投書記事】から十字で書き抜きなさい。

(2) つまり、まずは中学生でもできるようなボランテニアに挑戦してみよう、ということですね。とありますが、この司会の発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしていますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 考えの理由を明確にする役割。
- イ 出された発言の内容をまとめる役割。
- ウ 他に意見はないか求める役割。
- エ 話し合いの目的を確認する役割。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(25点)

掲載許諾申請中

(注) ※ディテール……詳細。細部。

(船木亨著「現代思想講義」による。一部省略がある。)

掲載許諾申請中

問1 ① それで気苦労は増える。とありますが、その理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

- ア 配分を平等にするか、条件によって不平等にするかということに、苦心するから。
- イ 一緒に食べる相手が何を食べているのかが気になって、安心感を得られないから。
- ウ マナーは個人によって様々なものであるので、相手を満足させることは難しいから。
- エ 食べる量や速度について、一人で食べる場合よりも気を遣わなくてはならないから。

問2 ② 正しいマナーを教えようとするひとは、マナーを知らないひとや、マナーを修正しようとしてないひとにもまして避けるべきである。とありますが、これは、筆者がマナーをどのようなものだと考えているからですか。次の空欄にあてはまる内容を、三十五字以上、四十五字以内で書きなさい。(6点)

マナーにおいて大切なことは、

<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>
---	---

は存在しない、と筆者は考えているから。

問3 ③ 一旦ルールが決まったとなると、別のことがはじまってしまふ。とありますが、ここでの「別のこと」にあてはまらないものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

- ア マナーのときには伴うことのなかった別の情念が生じてくること。
- イ 損得によって行動すること、もはやマナーではなくなること。
- ウ ルールとは反対の内容についても、意図せずに明らかになること。
- エ ルールを守るための行動が非難され、想定外の行為を生み出すこと。

問4 本文中の空欄 I にあてはまる内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

- ア ルールとマナーの混同がある
- イ ルールとマナーの区別がある
- ウ ルールの基準が存在する
- エ マナーの基準が存在する

5 次の資料は、「読書量(マンガや雑誌を除く)」について、県内の小学生、中学生、高校生を対象に調査し、その結果をまとめたものです。

国語の授業で、この資料から読み取ったことをもとに「読書を推進するための取り組み」について、一人一人が自分の考えを文章にまとめることにしました。あとの(注意)に従って、あなたの考えを書きなさい。(16点)

掲載許諾申請中

【平成28年度「埼玉青少年の意識と行動調査」報告書】から作成

(注意)

- (1) 段落や構成に注意して、自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)をふまえて書くこと。
- (2) 文章は、十三行以上、十五行以内で書くこと。
- (3) 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。
- (4) 題名・氏名は書かないで、一行目から本文を書くこと。

(以上で問題は終わりです。)

